

# 体験学習ファシリテーション<ベーシック>

## 体験学習のファシリテーションの基礎を学びたい人のために 【ファシリテーター・トレーニング】

担当者	中村 和彦（南山大学人文学部心理人間学科 教授）
概要	<p>参加者が、「ラボラトリー方式の体験学習」の実施者（ファシリテーター）の役割を交互にしながら、体験学習プログラムを進行していき、学習者の学びを促進していくための基礎を学ぶための講座です。</p> <p>学校の教師、研修講師、人材開発担当者などの方で、教育の場面で、体験学習や参加型教育を用いている方、体験学習のファシリテーションの基礎を学びたい方に最適な講座です。</p> <p>当センターが実施する類似の講座として「体験学習ファシリテーション〈アドバンス〉（旧「アドバンス体験学習」）」があります。「体験学習ファシリテーション〈ベーシック〉」が基礎編、「体験学習ファシリテーション〈アドバンス〉」が応用編となります。「体験学習ファシリテーション〈ベーシック〉」では、既存の実習を用いて、体験学習プログラムを設計し、実施するファシリテーターの力を養います。「体験学習ファシリテーション〈アドバンス〉」では、体験学習プログラムを独自に作成して実施するため、体験学習の設計についても深く学ぶことができます。</p> <p>「体験学習ファシリテーション〈アドバンス〉」に参加される方は、その学びの前段階としてファシリテーションの基礎を学ぶために、本講座（体験学習ファシリテーション〈ベーシック〉）に参加されることをお勧めします。</p> <p>「体験学習ファシリテーション〈ベーシック〉」では以下の内容を扱っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・体験学習プログラムを進める際の留意点について</li><li>・ねらいの設定と実習の選択について</li><li>・各フェーズでの進め方について（導入、課題の実施、ふりかえり、全体でのふりかえり）</li><li>・参加者が3つのグループに分かれて、各グループで体験学習プログラムの準備を行う</li><li>・ファシリテーター・グループが体験学習プログラム(90分間)を実施する →他のグループのメンバーは学習者になる ファシリテーター・グループにフィードバックを行う</li><li>・体験学習のファシリテーションについての小講義</li></ul> <p>なお、1回目の週末と2回目の週末の間に、体験学習プログラムの準備が必要になります。</p>
日程	2019年8月31日（土）、9月1日（日）、14日（土）、15日（日）4日間 10：00～18：00 ※最終日の15日（日）は9：00～18：00
定員	15名
参加資格	当センターの人間関係講座(グループ)、(コミュニケーション)のどちらかを修了された方、またはそれに準ずる経験をお持ちの方
会場	南山大学 D棟 D43教室
受講料	受講料 34,800円(税込)
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 中村 和彦 記</p> <p>今年度の「体験学習ファシリテーション&lt;ベーシック&gt;」は、8月31日（土）9月1日（日）、14日（土）、15日（日）の4日間で行われました。この講座では既存の実習を用いた体験学習プログラムをファシリテーターとして実践し、他の参加者からフィードバックを受けることを通して、体験学習のファシリテーションについて学びます。今年度のこの講座には、全国からお集まりいただいた15名の皆さんにご参加いただきました。</p> <p>講座1日目には、ラボラトリー方式の体験学習のファシリテーションについて、小講義を通して、また、私によるファシリテーションに対してフィードバックをいただくことを通してともに学びました。講座2日目と3日目の午前には、3つのチーム（ノンバーバル実習、コンセンサス実習、組織実習）に分かれ、それぞれのチームで自分たちがファシリテーターとして提供する体験学習プログラムについて準備をしました。このチームでの準備で起こるプロセスから学ぶこともこの講座でのねらいの1つです。</p> <p>講座3日目午後と4日目には、各チームが100分間の体験学習プログラムを実施し、その後、他の受講者からフィードバックをもらう、というセッションが行われました。そして、講座全体を通して、体験学習のプログラムを企画し、実施していくことの留意点について、また、チームで協働する際のプロセスから学ぶ講座となりました。私自身は、参加者の皆さんが学んでいただく講座の場をどのようにホールドしていくかについて考え、気づきをいただきました。</p> <p>参加者の皆さん、この講座が終了してから約1か月が経ちました。いかがお過ごしですか？この講座での皆さんの学びが、体験学習やワークショップの実践や日常の中に活かされているとしたら、とても嬉しいです。</p>